

《専門教育科目 専門応用科目》

科目名	教育社会学				
担当者氏名	佐川 宏迪				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	3年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門応用-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

いかなる教育実践が「望ましいのか」といった発想から距離をとり、社会的な視点から冷静にまたときに批判的に教育現象をとらえることは、教育現場の諸問題に対応する際にも求められる。上記の姿勢を身につけることを目指し、この講義では、私たちの身近な教育現象のメカニズムを社会学の視点から解説していく。

《授業の到達目標》

本科目は、これまで社会学にふれる機会がなかった学生を念頭に置いて展開する。したがって、まずは（教育）社会的な発想・視点について理解することを目標とする。そのうえで、さまざまな教育現象について社会的な視点から論じることができるようになることを目指す。

《成績評価の方法》

授業内試験100%で評価する。

《テキスト》

初回授業で提示する。

《参考図書》

- ・酒井朗, 中村高康, 多賀太『よくわかる教育社会学』ミネルヴァ書房.
- ・長谷川公一, 浜日出夫, 藤村正之, 町村敬志『社会学 (New Liberal Arts Selection)』有斐閣.
- ・佐川宏迪『定時制高校の教育社会学：教育システムの境界と包摂』勁草書房.

《授業時間外学習》

今回のテーマについて、テキストなどを参考に学習しておき、自身の経験等をふまえて何を考えたかを述べられる程度に準備しておく。

《備考（教員経験の有無）》

授業計画および講義形式は受講者数や進捗状況等をかながみて調整・変更することがある。また、ゲストを呼ぶことがある。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	授業計画および内容、評価方法の説明、次回以降に向けての準備等
2	教育社会学とは何か	教育現象を社会的な視点からとらえるとはどのようなことか
3	能力と学歴の社会学①	「能力がある」とはどういうことだろうか
4	能力と学歴の社会学②	能力があるから就職できるのか、学歴があるから就職できるのか
5	教師と多元的現実	教師のリアリティについて考える
6	学校教育と文化①	学校に「なじめる」と文化が関係しているとはどういうことだろうか
7	学校教育と文化②	「反学校文化」はいかにして形成されるのだろうか
8	学校教育と文化③	「ヤンチャな生徒」との関わりについて考える
9	教師をとりまく状況①	教師の多忙化を考える
10	教師をとりまく状況②	いじめ問題をどう考えたらよいだろうか
11	アジールとしての保健室	保健室の機能について考える
12	教育問題の医療化	「発達障害」のように児童・生徒の問題を医療の対象ととらえることについて考える
13	教育問題を語ること	教育や子どもの「問題」を語ることはらむ危うさについて考える
14	教育問題と定時制高校	不登校や高校中退を経験した生徒を受け入れる学校として定時制高校をとらえる
15	まとめおよび授業内試験	講義内容を総括したうえで授業内試験を行う